

1985年、谷田部町(現つくば市御幸が丘)にて、「つくば科学万博」が開催され、その面影を、谷田部エリアで見ることが出来ます。

※各場所は、中面の地図に表記。

L 科学万博の記憶1 万博モニュメント

岡本太郎作の科学万博モニュメントは万博記念公園駅に設置されています。科学万博終了で移転を余儀なくされ、万博会場から現在の科学万博記念公園付近の交差点近隣に移設されのちにつくばエクスプレス開通に伴って現在の位置に移転されました。



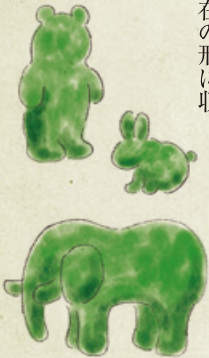
M 科学万博の記憶2 伊賀七庵

移転した谷田部の交番の脇に伊賀七座の施設があります。科学万博の際にはばらき、パビリオンの休憩所として設けられた施設です。万博の終了後は谷田部町役場の駐車場に会場から移設し、長く物置として使われていましたが、最近伊賀七座の事務所を兼ねた憩いの場となりました。



N 科学万博の記憶3 ベルギー花壇

谷田川の陣屋橋の東のたもとに三角形で真ん中が高くなっている花壇があります。これは1985年に開催された国際科学技術博覧会に出席したベルギー館の動物をかたどった庭園を譲り受けたものです。当初は動物を象つた植栽で充ち溢れた花壇でしたが、樹々の成長と手入れの関係から、現在の形に収まってしまいました。



O 土俵

谷田部には誰でも使えた相撲の土俵がありました。

台町地区にあった愛宕神社の土俵です。およそ60年前ごろまでは、秋の神社のお祭りの際には相撲大会が行われ、力自慢の猛者たちが競つたものでした。普段境内は近所の子供達の遊び場でしたので、相撲大会が行われなくなった後も少年達の相撲場となっていました。また、谷田部総合体育館の敷地内の東側にも土俵がありました。

どちらも、長く使われていなかったせいで、土製なので今は自然に帰り、影も形もありません。



体育館隣の土俵跡



愛宕神社の土俵跡

谷田部秋の祭り

昭和30年代までは、秋の収穫祭にあたるお祭りが、当時唯一の広い公共的空間であった谷田部小学校の運動場を利用して行われていた。「マチ(市)」と呼ばれ、町民の交易としての市、秋の祝祭(新嘗祭)、運動会といった内容で、それが農業協同組合・商工会・谷田部町の支援・協力もあつて、商工祭・農業祭・文化祭となり今の谷田部地区のオータムフェアにつながっています。

マチ(市)とは?

「市」を「まち」と読むのは、「高市(たかまち)」は生活様式、職業、そして旅回りのテキヤ生活つまり地域の祭礼を追って町から町をめぐる、寺の境内に露店や屋台を出したり、あるいは莫産を敷いて祭礼の期間中に物品を売るというテキヤ生活を意味している。(出典：岩波現代文庫「ヤクザの文化人類学」P245)とあるように、露天商も出ていた祭りだったこともあるかも。



◎編集後記

表紙で使用した「励起」は本来量子力学の用語です。科学技術の街を自負するつくば市ならではの使い方もしれません。埋もれてしまった歴史を活性化させるといイメージで使いました。

SNSの普及で人々のネットワークは充実したようですが、逆に身近なネットワーク(地域のつながり)は薄れてきたようです。「燈台下暗し」とも言えます。みんなの記憶の片隅にあるものを取り上げること、忘れてしまったことから、未来へつながることもあるのではないかと思います。

今回の紹介内容は内町から台町、少し拡大して小野川地区に位置する「農場」、現在の農林団地内にあった旧海軍飛行場跡などを取り上げました。「えー谷田部に飛行場があつたの?」と驚かれる方が多いと思いますが、ここから先の大戦で尊い命を落とした人々に思いをはせ、静かに黙祷を捧げられればと思います。

谷田部を紹介するこの企画について、記憶や「跡」でしか残っていない史実や資料などをご存じの方のご協力をお願いします。下記のページで受付けています。

K 記

さらに詳しい情報は

谷田部郷土資料館



郷土の文化財、遺物、古文書の歴史資料などの展示をしています。谷田部藩細川氏の展示資料、江戸時代の発明家「飯塚伊賀七」が製作した木製和時計の復元品もあります。

つくば市谷田部4774-18
(谷田部交流センター3階)
tel.029-836-0139

◎開館時間 10:00~16:00

◎休館日

毎週月曜日・祝日・

年末年始(12月29日~1月3日)

◎料金 無料



谷田部市街地活性化協議会 facebookページ

<https://www.facebook.com/yatabe.tuskuba>

史実や資料のご提供、お待ちしております!